

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 分娩時の記録を用いた当院における経腔分娩・帝王切開分娩の広報誌的研究』

【研究の背景および目的】

当院は総合周産期母子医療センターとして、広範囲な南東京地域のハイリスク妊娠・分娩を取り扱っています。しかしながら、これまで当院で取り扱いとなった経腔分娩・帝王切開分娩の膨大な分娩記録の多くは集計・解析されずにより、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩の統計はとられていませんでした。

そこで、東邦大学医療センター大森病院産婦人科では、当院で分娩に至った経腔分娩・帝王切開分娩の分娩時の記録を整理し、当院における分娩の傾向と、分娩時の合併症や有害事象のリスク因子を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、当院のより安全で質の高い産科医療を提供することにつながります。また、医学学会や学術誌への公表を通じて、わが国の産科医療提供体制に有用な疫学情報を提示することとなり、日本の産科医療の安全性の向上に貢献します。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2005 年以降に東邦大学医療センター大森病院産婦人科において、経腔分娩・帝王切開分娩に至った全症例を対象とします。

診療録(カルテ)から抽出した分娩時記録をもとに分娩時データを解析することにより、当院における分娩統計を明確にするとともに、経腔分娩・帝王切開分娩の合併症や有害事象等のリスク因子を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

産婦人科

職位・氏名 教授・中田雅彦

電話 03-3762-4151 内線 6672